

## The Case of the Wrong Bag

(かばん取り違え事件)

P.76

◎ Famous Detective

1. a.
2. b.
3. c.

P.78

ケイズ・ジュエリー店の経営者、ウエンディ・ケイさんは、12月2日、水曜日一人で働いていた。

3時半ちょうどに男が入ってきた。

彼は、顔をハンカチで覆っていた。

ウエンディは、彼のポケットの銃の形をしたものに気づいたのだ。

## 【文章構造:関係副詞】

Wendy noticed his pocket where she could see the outline of the gun.

関係副詞 where 以降の文が、his pocket という名詞を修飾している。

場所を表す名詞を修飾するときの関係副詞は where を使う。

彼女は怖くなった。

男は、ウエンディ・ケイに、ケースに入っている宝石と現金を黒いかばんに入れるよう指示した。

強盗はものの数分で終わった。

翌日、午後4時、ジョン・サマーズはブリストル・ホテルに入っていく荷物チェックルームへ向った。

彼は黒いかばんを指して、係員が彼に荷物を渡した。

その時、ホテルの保安官がサマーズのかばんが、強盗で使われたものとよく似ていることに気づいたのだ。

彼はサマーズを止めて警察を呼んだ。

警察がかばんを開くと、盗まれた宝石がでてきたのだ。

owner	〔名詞〕	オーナー、経営者
jewelry	〔名詞〕	宝石類
Wendy Kay	〔固有名詞〕	ウエンディ・ケイ
exactly	〔副詞〕	ちょうど
handkerchief	〔名詞〕	ハンカチ
outline	〔名詞〕	アウトライン、輪郭
gun	〔名詞〕	銃

scare(d)	〔動詞〕	驚かす、怖がらせる
jewel	〔名詞〕	宝石
robbery	〔名詞〕	強盗
John Summers	〔固有名詞〕	ジョン・サマーズ
the Bristol Hotel	〔固有名詞〕	ブリストル・ホテル
luggage	〔名詞〕	かばん、手荷物
checkroom	〔名詞〕	チェックルーム
hotel detective	〔熟語〕	ホテルの保安官
stolen<steal	〔動詞〕	盗む

**P.79**

**【Hints for Understanding】**

省略

**【Rea it Through】**

A

1. ×
2. ○
3. ×
4. ○

B

1. Yes, Wendy Kay was alone when a man walked into the store.
2. A man walked into the store at 3:30.
3. The black bag was in the luggage checkroom at Bristol Hotel.
4. The hotel detective stopped Summers and called the police.

**【Listen & Repeat】** 省略

**P.80**

ジョン・サマーズは驚きを隠せなかった。

彼は、間違っただかばんを指してしまったのだと言った。

かばんは彼ではなく、違う人のだと。

彼のかばんには鍵がかけられていたのだ。

警察は捜してみたが、もうひとつの黒いかばんは見つからなかった。

裁判にて

証拠物件 A はかばんと宝石。

一風変わったかばんだった。

同じホテルに、このようなかばんがもう一つチェックインされる可能性は低い。

警察は、ジョン・サマーズのポケットに入っていた品々、証拠物件 B を提出した。

彼が逮捕されたときに持っていたものだ。